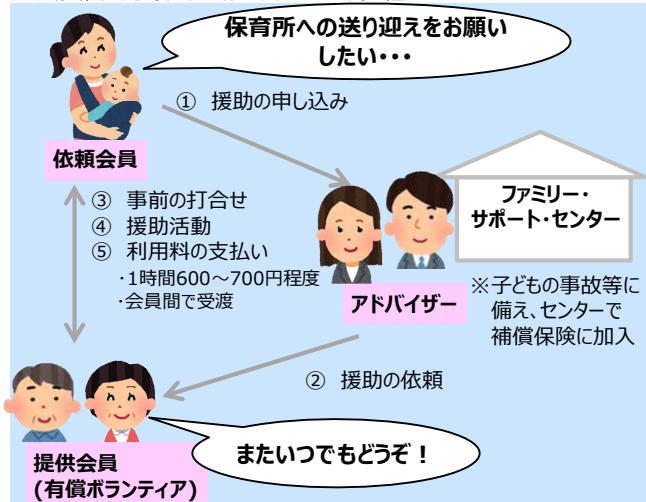


ファミリー・サポート・センターの充実

現状

○ファミリー・サポート・センター事業の概要

- ・子育ての援助を受けたい人と行いたい人がそれぞれ会員登録し、会員間で子育ての助け合いをする仕組み



○本県の実施状況

- ・高知市(H16)、佐川町(H27)、香南市(H28)、南国市(H29)、安芸市(H29)、香美市(H30) の5市1町

課題

ニーズが顕在化していない

- ・市町村において、事業実施に踏み切れない

委託先の確保が困難

- ・市町村が想定する委託先を「手いっぱい」と認識
- ・委託できる適当な団体が無い

会員の確保が困難

- ・特に援助会員の確保が困難
- ・預かりに対する不安感が先行している

援助活動に対する不安

- ・自宅1人で預かることに対する不安

H30の取組

1.高知版ファミリー・サポート・センター設置への支援

○高知版ファミリー・サポート・センター運営費補助金 (25,288千円)

国の補助要件を満たさない会員数50人未満の小規模なセンターを設置・運営する市町村を県単独で支援

- ・補助率：①②③2/3、③10/10
- ・支援内容：①会員数50人未満のセンターの設置・運営
- ②専任職員を1名以上配置
- ③市町村が独自に行う研修
- ④提供会員の活動支援 (提供会員に加入し、援助活動を行った場合に年額5,000円の活動費を支給)

○ファミリー・サポート・センター運営費補助金 (4,166千円)

国の補助を活用してセンターを運営する市町村を支援

2.会員(預けたい・預かりたい)の増にむけた制度の周知と研修の実施

○イベントやテレビCMなどでの広報 (2,376千円)

- ①地域のイベントなどで援助活動の事例を放送し、ファミサポの周知によって、会員の増加につなげる。
- ②テレビCMなどを通じて制度を広く県内へ周知し、未設置市町村におけるニーズの顕在化を図る。

○リーフレットの作成・配布、県の広報媒体を活用した周知 (495千円)

- 提供会員になるための研修の実施 (545千円)
 - ・子育て支援員研修(ファミリーサポートセンターコース)
 - ・開所する市町村が実施する研修の支援

○アドバイザーのスキルアップの支援 (384千円)

進捗状況

項目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 新たなセンターを開設する	新規開設市町	担当課との協議・開設準備					8月・香美市 センターの開設・運営		10月・いの町 センターの開設・運営		1月・須崎市 センターの開設・運営		
	開設済市町村	広報等による運営支援、利用促進にかかる取り組みの検討・協議											
	その他市町村	首長訪問、担当課との協議(高知版活用の検討等)											
2. 会員を増やす(共通)	制度の周知						イベント出展		CMによる広報(通年)				
	提供会員の養成	子育て支援員研修(ファミリーサポートセンターコース)											
	アドバイザーのスキルアップ	アドバイザー研修											